

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 宮崎県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	宮崎病院	2
-	延岡病院	3
-	日南病院	4
宮崎市	宮崎市立田野病院	5
日南市	日南市立中部病院	6
小林市	小林市立病院	7
串間市	市民病院	8
えびの市	えびの市立病院	9
高原町	国保高原病院	10
都農町	都農町国民健康保険病院	11
椎葉村	椎葉村国民健康保険病院	12
美郷町	西郷病院	13
高千穂町	国保病院	14
日之影町	国保病院	15
五ヶ瀬町	国保病院	16

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名					
病院名 宮崎病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	100,580 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救急が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	459	75.7	70.4	62.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	35	68.3	49.6	31.5
感染症	8	-	-	-
計	502	74.0	67.8	59.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	11.5	11.7

設立団体の状況		
人口(人)	1,069,576	
決算規模(千円)	690,519,290	
標準財政規模(千円)	332,292,602	
財政力指数	0.34084	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	97.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,082,723			
1 経常収益	18,082,723			
(1) 医業収益	14,759,004			
(うち修正医業収益)	14,422,290			
入院収益	9,959,969			
外来収益	4,275,487			
診療収入計	14,235,456			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	523,548			
(うち他会計負担金)	336,714			
(2) 医業外収益	3,323,719			
(うち国・都道府県補助金)	32,517			
(うち他会計補助・負担金)	2,609,712			
(うち長期前受金戻入)	624,023			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,459,859			
2 経常費用	19,459,859			
(1) 医業費用	18,526,199			
職員給与費	8,179,903	55.4	59.4	52.8
材料費	4,789,611	32.5	26.1	31.5
(うち薬品費)	3,065,053	20.8	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,722,633	11.7	11.8	13.9
減価償却費	2,801,379	19.0	8.7	7.7
経費	2,435,940	16.5	22.1	18.0
(うち委託料)	1,675,024	11.3	11.7	10.7
研究研修費	49,081			
資産減耗費	270,285			
(2) 医業外費用	933,660			
(うち支払利息)	36,989	0.3	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-1,377,136			
純損益	-1,377,136			
累積欠損金	2,734,956			
経常収支比率	92.9		103.3	102.8
医業収支比率	79.7		85.5	90.3
修正医業収支比率	77.8		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	16.3		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	20.0		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	16.3		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	77.8		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	77,534,808
1 固定資産	57,615,066
(1) 有形固定資産	53,505,307
(2) 無形固定資産	281,484
(3) 投資その他の資産	3,828,275
2 流動資産	19,919,742
(1) 現金及び預金	3,243,087
(2) 未収金及び未収収益	6,958,263
(3) 貸倒引当金()	50,614
(4) 貯蔵品	241,824
3 繰延資産	-
負債合計	71,109,045
1 固定負債	48,039,277
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	42,842,691
(2) その他の企業債	600
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,060,274
(7) 一ス債務	1,135,712
2 流動負債	18,516,344
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,693,302
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,057,032
(6) リ一ス債務	191,119
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,987,628
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,553,424
(1) 長期前受金	45,890,944
(2) 長期前受金収益化累計額()	41,337,520
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,425,763
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-6,317,633
(1) 資本剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-6,428,109
負債・資本合計	77,534,808
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,869,797	2,946,426
資本勘定繰入	536,030	536,030
計	3,405,827	3,482,456

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名					
延岡病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	35,235 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	406	68.4	68.7	66.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	410	67.7	68.0	66.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	11.6	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	1,069,576	
決算規模(千円)	690,519,290	
標準財政規模(千円)	332,292,602	
財政力指数	0.34084	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	97.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,456,601			
1 経常収益	13,456,601			
(1) 医業収益	11,020,638			
(うち修正医業収益)	10,684,370			
入院収益	8,009,968			
外来収益	2,568,018			
診療収入計	10,577,986			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	442,652			
(うち他会計負担金)	336,268			
(2) 医業外収益	2,435,963			
(うち国・都道府県補助金)	9,082			
(うち他会計補助・負担金)	1,844,629			
(うち長期前受金戻入)	567,990			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,820,915			
2 経常費用	12,820,915			
(1) 医業費用	12,093,077			
職員給与費	5,561,092	50.5	59.4	57.2
材料費	3,601,598	32.7	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,977,744	17.9	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,621,393	14.7	11.8	12.7
減価償却費	901,323	8.2	8.7	8.0
経費	1,971,740	17.9	22.1	19.0
(うち委託料)	1,155,185	10.5	11.7	10.0
研究研修費	38,283			
資産減耗費	19,041			
(2) 医業外費用	727,838			
(うち支払利息)	133,497	1.2	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	635,686			
純損益	635,686			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.0		103.3	103.2
医業収支比率	91.1		85.5	88.6
修正医業収支比率	88.4		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	16.2		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	19.8		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	16.2		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	87.9		91.9	93.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	77,534,808
1 固定資産	57,615,066
(1) 有形固定資産	53,505,307
(2) 無形固定資産	281,484
(3) 投資その他の資産	3,828,275
2 流動資産	19,919,742
(1) 現金及び預金	3,243,087
(2) 未収金及び未収収益	6,958,263
(3) 貸倒引当金()	50,614
(4) 貯蔵品	241,824
3 繰延資産	-
負債合計	71,109,045
1 固定負債	48,039,277
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	42,842,691
(2) その他の企業債	600
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,060,274
(7) 一ス債務	1,135,712
2 流動負債	18,516,344
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,693,302
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,057,032
(6) リ一ス債務	191,119
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,987,628
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,553,424
(1) 長期前受金	45,890,944
(2) 長期前受金収益化累計額()	41,337,520
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,425,763
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-6,317,633
(1) 資本剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-6,428,109
負債・資本合計	77,534,808
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,122,827	2,180,897
資本勘定繰入	1,001,166	1,001,166
計	3,123,993	3,182,063

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名					
病院名 日南病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,668 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	277	62.9	65.5	65.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	281	62.0	64.6	64.2
平均在院日数(一般病床のみ)		15.8	15.1	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	1,069,576	
決算規模(千円)	690,519,290	
標準財政規模(千円)	332,292,602	
財政力指数	0.34084	
経常収支比率(%)	91.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.4
	将来負担比率(%)	97.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,500,985			
1 経常収益	6,500,985			
(1) 医業収益	4,809,872			
(うち修正医業収益)	4,759,675			
入院収益	3,525,298			
外来収益	1,159,851			
診療収入計	4,685,149			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	124,723			
(うち他会計負担金)	50,197			
(2) 医業外収益	1,691,113			
(うち国・都道府県補助金)	8,934			
(うち他会計補助・負担金)	1,312,348			
(うち長期前受金戻入)	359,676			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,933,612			
2 経常費用	6,933,612			
(1) 医業費用	6,580,975			
職員給与費	3,562,382	74.1	59.4	63.7
材料費	1,118,355	23.3	26.1	21.0
(うち薬品費)	526,784	11.0	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	589,804	12.3	11.8	10.1
減価償却費	593,725	12.3	8.7	9.7
経費	1,272,558	26.5	22.1	28.9
(うち委託料)	792,448	16.5	11.7	13.6
研究研修費	18,726			
資産減耗費	15,229			
(2) 医業外費用	352,637			
(うち支払利息)	98,015	2.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-432,627			
純損益	-432,627			
累積欠損金	9,762,403			
経常収支比率	93.8		103.3	101.8
医業収支比率	73.1		85.5	80.8
修正医業収支比率	72.3		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	21.0		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	28.3		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	21.0		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	74.1		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	77,534,808
1 固定資産	57,615,066
(1) 有形固定資産	53,505,307
(2) 無形固定資産	281,484
(3) 投資その他の資産	3,828,275
2 流動資産	19,919,742
(1) 現金及び預金	3,243,087
(2) 未収金及び未収収益	6,958,263
(3) 貸倒引当金()	50,614
(4) 貯蔵品	241,824
3 繰延資産	-
負債合計	71,109,045
1 固定負債	48,039,277
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	42,842,691
(2) その他の企業債	600
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,060,274
(7) 一ス債務	1,135,712
2 流動負債	18,516,344
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,693,302
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,057,032
(6) リ一ス債務	191,119
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,987,628
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,553,424
(1) 長期前受金	45,890,944
(2) 長期前受金収益化累計額()	41,337,520
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,425,763
1 資本金	12,743,396
2 剰余金	-6,317,633
(1) 資本剰余金	110,476
(2) 利益剰余金	-6,428,109
負債・資本合計	77,534,808
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,326,956	1,362,545
資本勘定繰入	594,294	594,294
計	1,921,250	1,956,839

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		宮崎市			
病院名		宮崎市立田野病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,129 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	42	77.6	87.7	77.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	42	77.6	87.7	77.6
平均在院日数(一般病床のみ)		26.7	25.8	21.0

設立団体の状況		
人口(人)	401,339	
決算規模(千円)	188,663,443	
標準財政規模(千円)	91,465,907	
財政力指数	0.70	
経常収支比率(%)	90.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	30.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	849,577			
1 経常収益	842,725			
(1) 医業収益	673,860			
(うち修正医業収益)	633,916			
入院収益	424,248			
外来収益	190,384			
診療収入計	614,632			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	59,228			
(うち他会計負担金)	39,944			
(2) 医業外収益	168,865			
(うち国・都道府県補助金)	3,395			
(うち他会計補助・負担金)	160,163			
(うち長期前受金戻入)	2,598			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,852			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	803,758			
2 経常費用	790,620			
(1) 医業費用	757,576			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	61,795	9.2	8.7	12.7
経費	695,531	103.2	22.1	45.1
(うち委託料)	187,887	27.9	11.7	21.3
研究研修費	41			
資産減耗費	209			
(2) 医業外費用	33,044			
(うち支払利息)	12,496	1.9	1.0	1.0
(3) 特別損失	13,138			
損益	52,105			
純損益	45,819			
累積欠損金	264,817			
経常収支比率	106.6		103.3	101.7
医業収支比率	88.9		85.5	62.5
修正医業収支比率	83.7		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	23.7		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	29.7		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	23.6		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	81.3		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,618,392
1 固定資産	1,026,070
(1) 有形固定資産	1,023,277
(2) 無形固定資産	2,793
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	592,322
(1) 現金及び預金	490,715
(2) 未収金及び未収収益	101,821
(3) 貸倒引当金()	214
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	940,765
1 固定負債	834,729
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	621,746
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	210,000
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	2,983
2 流動負債	68,182
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,453
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	-
(6) リース債務	3,971
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,654
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	37,854
(1) 長期前受金	51,602
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,748
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	677,627
1 資本金	931,265
2 剰余金	-253,638
(1) 資本剰余金	11,179
(2) 利益剰余金	-264,817
負債・資本合計	1,618,392
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	199,526	200,107
資本勘定繰入	25,016	25,016
計	224,542	225,123

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	39.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 宮崎県	
市町村・組合名	日南市				
病院名	日南市立中部病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,377 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	88	67.0	60.2	69.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	88	67.0	60.2	69.1
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	18.6	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	50,848	
決算規模(千円)	35,973,505	
標準財政規模(千円)	15,521,645	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	61.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,713,546			
1 経常収益	1,713,448			
(1) 医業収益	1,238,458			
(うち修正医業収益)	1,177,589			
入院収益	725,060			
外来収益	368,659			
診療収入計	1,093,719			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	144,739			
(うち他会計負担金)	60,869			
(2) 医業外収益	474,990			
(うち国・都道府県補助金)	37,652			
(うち他会計補助・負担金)	338,437			
(うち長期前受金戻入)	95,409			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	98			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,716,173			
2 経常費用	1,714,754			
(1) 医業費用	1,652,626			
職員給与費	1,071,023	86.5	59.4	76.5
材料費	125,457	10.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	40,188	3.2	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	66,726	5.4	11.8	6.4
減価償却費	108,124	8.7	8.7	11.5
経費	340,454	27.5	22.1	32.6
(うち委託料)	102,347	8.3	11.7	14.8
研究研修費	1,346			
資産減耗費	6,222			
(2) 医業外費用	62,128			
(うち支払利息)	15,852	1.3	1.0	1.3
(3) 特別損失	1,419			
経常損益	-1,306			
純損益	-2,627			
累積欠損金	268,580			
経常収支比率	99.9		103.3	101.5
医業収支比率	74.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	71.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	32.2		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	23.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	76.6		91.9	78.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,952,561
1 固定資産	1,660,859
(1) 有形固定資産	1,660,266
(2) 無形固定資産	593
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	291,702
(1) 現金及び預金	81,371
(2) 未収金及び未収収益	191,390
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	18,941
3 繰延資産	-
負債合計	1,655,771
1 固定負債	1,136,801
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	928,801
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	208,000
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	311,865
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	162,687
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	71,963
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	76,632
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	207,105
(1) 長期前受金	1,310,570
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,103,465
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	296,790
1 資本金	525,144
2 剰余金	-228,354
(1) 資本剰余金	5,600
(2) 利益剰余金	-233,954
負債・資本合計	1,952,561
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	295,718	399,306
資本勘定繰入	91,099	91,099
計	386,817	490,405

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	21.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	小林市				
病院名	小林市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,077 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	143	63.3	65.2	67.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	48.6	24.0	11.0
計	147	62.9	64.1	65.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.8	15.5	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	43,670	
決算規模(千円)	29,673,201	
標準財政規模(千円)	14,279,494	
財政力指数	0.38	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	67.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,770,959			
1 経常収益	2,750,466			
(1) 医業収益	2,249,711			
(うち修正医業収益)	2,131,820			
入院収益	1,600,266			
外来収益	483,065			
診療収入計	2,083,331			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	166,380			
(うち他会計負担金)	117,891			
(2) 医業外収益	500,755			
(うち国・都道府県補助金)	88,376			
(うち他会計補助・負担金)	284,908			
(うち長期前受金戻入)	96,574			
(うち資本費繰入収益)	19,125			
(3) 特別利益	20,493			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,705,302			
2 経常費用	2,705,302			
(1) 医業費用	2,572,596			
職員給与費	1,556,115	69.2	59.4	67.0
材料費	506,608	22.5	26.1	18.2
(うち薬品費)	347,536	15.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	154,248	6.9	11.8	9.4
減価償却費	171,940	7.6	8.7	10.2
経費	328,441	14.6	22.1	28.8
(うち委託料)	184,791	8.2	11.7	13.2
研究研修費	5,806			
資産減耗費	3,686			
(2) 医業外費用	132,706			
(うち支払利息)	47,002	2.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	45,164			
純損益	65,657			
累積欠損金	1,164,361			
経常収支比率	101.7		103.3	104.5
医業収支比率	87.4		85.5	80.1
修正医業収支比率	82.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	14.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	17.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	14.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	86.8		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,344,685
1 固定資産	3,731,134
(1) 有形固定資産	3,724,996
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	6,138
2 流動資産	613,551
(1) 現金及び預金	203,417
(2) 未収金及び未収収益	374,896
(3) 貸倒引当金()	1,854
(4) 貯蔵品	36,875
3 繰延資産	-
負債合計	4,745,761
1 固定負債	3,176,985
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,181,921
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	581,000
(6) 引当金	406,386
(7) 一ス債務	7,678
2 流動負債	528,048
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	163,651
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	65,000
(5) 引当金	96,931
(6) リ一ス債務	4,188
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	190,045
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,040,728
(1) 長期前受金	2,590,681
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,549,953
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-401,076
1 資本金	643,584
2 剰余金	-1,044,660
(1) 資本剰余金	119,701
(2) 利益剰余金	-1,164,361
負債・資本合計	4,344,685
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	401,076
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	402,799	402,799
資本勘定繰入	59,592	59,592
計	462,391	462,391

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	51.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	串間市				
病院名	市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,589 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業	許可	看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	120	59.6	61.0	56.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	59.6	61.0	56.3
平均在院日数(一般病床のみ)		21.4	19.6	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	16,822	
決算規模(千円)	15,147,200	
標準財政規模(千円)	6,829,772	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	91.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.0
	将来負担比率(%)	44.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,256,747			
1 経常収益	2,256,747			
(1) 医業収益	1,656,186			
(うち修正医業収益)	1,614,801			
入院収益	973,926			
外来収益	575,612			
診療収入計	1,549,538			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	106,648			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	600,561			
(うち国・都道府県補助金)	330,060			
(うち他会計補助・負担金)	151,648			
(うち長期前受金戻入)	70,866			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,191,384			
2 経常費用	2,191,154			
(1) 医業費用	2,084,662			
職員給与費	1,197,271	72.3	59.4	67.0
材料費	286,665	17.3	26.1	18.2
(うち薬品費)	132,121	8.0	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	154,544	9.3	11.8	9.4
減価償却費	162,410	9.8	8.7	10.2
経費	435,321	26.3	22.1	28.8
(うち委託料)	223,397	13.5	11.7	13.2
研究研修費	2,735			
資産減耗費	260			
(2) 医業外費用	106,492			
(うち支払利息)	35,543	2.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	230			
損益	65,593			
純損益	65,363			
累積欠損金	1,955,326			
経常収支比率	103.0		103.3	104.5
医業収支比率	79.4		85.5	80.1
修正医業収支比率	77.5		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	11.7		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	8.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	94.2		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,208,522
1 固定資産	2,701,705
(1) 有形固定資産	2,684,678
(2) 無形固定資産	378
(3) 投資その他の資産	16,649
2 流動資産	506,817
(1) 現金及び預金	70,452
(2) 未収金及び未収収益	427,806
(3) 貸倒引当金()	111
(4) 貯蔵品	8,669
3 繰延資産	-
負債合計	4,263,882
1 固定負債	2,661,117
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,602,343
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	820,600
(6) 引当金	206,022
(7) 一ス債務	32,152
2 流動負債	969,102
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	175,625
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	100,000
(5) 引当金	64,810
(6) リ一ス債務	10,828
(7) 一時借入金	500,000
(8) 未払金及び未払費用	115,814
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	633,663
(1) 長期前受金	1,638,762
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,005,099
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,055,360
1 資本金	543,019
2 剰余金	-1,598,379
(1) 資本剰余金	356,947
(2) 利益剰余金	-1,955,326
負債・資本合計	3,208,522
不良債務	286,660
実質資金不足額	286,660
資本不足額()	1,055,360
資本不足額(繰延収益控除後)()	421,697
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	263,315	193,033
資本勘定繰入	86,967	1,007,567
計	350,282	1,200,600

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	286,660	17.3
令和3年度	227,033	13.9
令和2年度	81,136	5.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	118.1
健全化法上の資金不足額(千円)	286,660
健全化法上の資金不足比率(%)	17.3
地財法上の資金不足額(千円)	286,660
地財法上の資金不足比率(%)	17.3

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		宮崎県	
市町村・組合名	えびの市		
病院名	えびの市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	3,456 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	50.6	56.0	51.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	50.6	56.0	51.6
平均在院日数(一般病床のみ)		29.2	31.2	26.3

設立団体の状況		
人口(人)	17,638	
決算規模(千円)	14,221,431	
標準財政規模(千円)	6,676,953	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	92.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	879,116			
1 経常収益	879,116			
(1) 医業収益	529,095			
(うち修正医業収益)	468,431			
入院収益	240,509			
外来収益	200,147			
診療収入計	440,656			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	88,439			
(うち他会計負担金)	60,664			
(2) 医業外収益	350,021			
(うち国・都道府県補助金)	149,586			
(うち他会計補助・負担金)	189,166			
(うち長期前受金戻入)	9,234			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	835,866			
2 経常費用	835,866			
(1) 医業費用	810,074			
職員給与費	502,128	94.9	59.4	76.5
材料費	126,447	23.9	26.1	14.9
(うち薬品費)	104,329	19.7	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,775	3.9	11.8	6.4
減価償却費	36,057	6.8	8.7	11.5
経費	139,159	26.3	22.1	32.6
(うち委託料)	77,040	14.6	11.7	14.8
研究研修費	418			
資産減耗費	5,865			
(2) 医業外費用	25,792			
(うち支払利息)	207	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	43,250			
純損益	43,250			
累積欠損金	599,367			
経常収支比率	105.2		103.3	101.5
医業収支比率	65.3		85.5	73.2
修正医業収支比率	57.8		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	28.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	47.2		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	28.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	75.3		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	953,948
1 固定資産	381,086
(1) 有形固定資産	379,572
(2) 無形固定資産	1,490
(3) 投資その他の資産	24
2 流動資産	572,862
(1) 現金及び預金	463,307
(2) 未収金及び未収収益	97,797
(3) 貸倒引当金()	264
(4) 貯蔵品	11,022
3 繰延資産	-
負債合計	465,464
1 固定負債	343,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	343,497
(7) 一 負債	-
2 流動負債	67,859
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,283
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	34,236
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	28,058
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	54,108
(1) 長期前受金	137,756
(2) 長期前受金収益化累計額()	83,648
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	488,484
1 資本金	1,069,122
2 剰余金	-580,638
(1) 資本金剰余金	3,153
(2) 利益剰余金	-583,791
負債・資本合計	953,948
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	249,830	249,830
資本勘定繰入	18,025	18,025
計	267,855	267,855

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	113.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	高原町				
病院名	国保高原病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,051 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	56	42.4	46.4	55.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	56	42.4	46.4	55.5
平均在院日数(一般病床のみ)		27.4	26.4	26.1

設立団体の状況		
人口(人)	8,639	
決算規模(千円)	7,099,301	
標準財政規模(千円)	3,635,254	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,003,095			
1 経常収益	996,532			
(1) 医業収益	576,435			
(うち修正医業収益)	516,520			
入院収益	250,375			
外来収益	189,760			
診療収入計	440,135			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	136,300			
(うち他会計負担金)	59,915			
(2) 医業外収益	420,097			
(うち国・都道府県補助金)	21,123			
(うち他会計補助・負担金)	373,646			
(うち長期前受金戻入)	22,148			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,563			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	936,588			
2 経常費用	936,142			
(1) 医業費用	900,173			
職員給与費	483,262	83.8	59.4	76.5
材料費	64,698	11.2	26.1	14.9
(うち薬品費)	24,995	4.3	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	38,127	6.6	11.8	6.4
減価償却費	48,461	8.4	8.7	11.5
経費	299,085	51.9	22.1	32.6
(うち委託料)	105,097	18.2	11.7	14.8
研究研修費	3,349			
資産減耗費	1,318			
(2) 医業外費用	35,969			
(うち支払利息)	16,664	2.9	1.0	1.3
(3) 特別損失	446			
損益	60,390			
純損益	66,507			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.5		103.3	101.5
医業収支比率	64.0		85.5	73.2
修正医業収支比率	57.4		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	43.5		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	75.2		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	43.2		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	60.1		91.9	78.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,230,048
1 固定資産	1,031,508
(1) 有形固定資産	1,031,248
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	260
2 流動資産	198,540
(1) 現金及び預金	95,429
(2) 未収金及び未収収益	103,844
(3) 貸倒引当金()	8,486
(4) 貯蔵品	7,753
3 繰延資産	-
負債合計	931,488
1 固定負債	729,508
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	684,490
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	45,018
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	129,181
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	53,639
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	39,641
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	35,901
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	72,799
(1) 長期前受金	435,707
(2) 長期前受金収益化累計額()	362,908
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	298,560
1 資本金	32,012
2 剰余金	266,548
(1) 資本金剰余金	3,898
(2) 利益剰余金	262,650
負債・資本合計	1,230,048
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	253,561	433,561
資本勘定繰入	26,450	26,450
計	280,011	460,011

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		都農町			
病院名		都農町国民健康保険病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,978 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	11	指定病院の状況	救 感		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	61	43.0	43.8	43.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	125.1	45.3	24.7
計	65	48.0	43.8	42.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	10.7	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	9,906	
決算規模(千円)	10,394,556	
標準財政規模(千円)	3,887,176	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,657,398			
1 経常収益	1,656,170			
(1) 医業収益	870,472			
(うち修正医業収益)	832,628			
入院収益	425,705			
外来収益	316,179			
診療収入計	741,884			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	128,588			
(うち他会計負担金)	37,844			
(2) 医業外収益	785,698			
(うち国・都道府県補助金)	561,558			
(うち他会計補助・負担金)	133,806			
(うち長期前受金戻入)	82,594			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,228			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,182,465			
2 経常費用	1,182,465			
(1) 医業費用	1,146,429			
職員給与費	645,355	74.1	59.4	76.5
材料費	132,696	15.2	26.1	14.9
(うち薬品費)	65,202	7.5	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	58,046	6.7	11.8	6.4
減価償却費	125,827	14.5	8.7	11.5
経費	241,159	27.7	22.1	32.6
(うち委託料)	109,409	12.6	11.7	14.8
研究研修費	719			
資産減耗費	673			
(2) 医業外費用	36,036			
(うち支払利息)	5,437	0.6	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	473,705			
純損益	474,933			
累積欠損金	-			
経常収支比率	140.1		103.3	101.5
医業収支比率	75.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	72.6		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	19.7		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	10.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	125.5		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,744,585
1 固定資産	1,724,335
(1) 有形固定資産	1,724,335
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,020,250
(1) 現金及び預金	725,288
(2) 未収金及び未収収益	286,386
(3) 貸倒引当金()	790
(4) 貯蔵品	9,365
3 繰延資産	-
負債合計	2,093,232
1 固定負債	1,575,738
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,350,037
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	225,701
(7) 一 負債	-
2 流動負債	162,807
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	78,119
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,943
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	50,745
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	354,687
(1) 長期前受金	1,093,626
(2) 長期前受金収益化累計額()	738,939
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	651,353
1 資本金	376,460
2 剰余金	274,893
(1) 資本剰余金	40,469
(2) 利益剰余金	234,424
負債・資本合計	2,744,585
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	171,650	171,650
資本勘定繰入	59,913	59,913
計	231,563	231,563

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名		椎葉村			
病院名		椎葉村国民健康保険病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	2,173 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救 臨 へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	30	35.9	49.4	43.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	35.9	49.4	43.1
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	17.0	17.0

設立団体の状況		
人口(人)	2,503	
決算規模(千円)	6,700,745	
標準財政規模(千円)	3,086,822	
財政力指数	0.17	
経常収支比率(%)	80.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	472,755			
1 経常収益	472,755			
(1) 医療収益	329,687			
(うち修正医療収益)	293,393			
入院収益	102,967			
外来収益	161,352			
診療収入計	264,319			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医療収益	65,368			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医療外収益	143,068			
(うち国・都道府県補助金)	15,974			
(うち他会計補助・負担金)	106,483			
(うち長期前受金戻入)	19,647			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	477,742			
2 経常費用	477,721			
(1) 医療費用	460,003			
職員給与費	288,643	87.6	59.4	87.7
材料費	78,358	23.8	26.1	13.6
(うち薬品費)	63,665	19.3	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,222	3.7	11.8	5.9
減価償却費	35,775	10.9	8.7	12.7
経費	55,901	17.0	22.1	45.1
(うち委託料)	21,056	6.4	11.7	21.3
研究研修費	562			
資産減耗費	764			
(2) 医療外費用	17,718			
(うち支払利息)	3,853	1.2	1.0	1.0
(3) 特別損失	21			
損益	-4,966			
純損益	-4,987			
累積欠損金	287,497			
経常収支比率	99.0		103.3	101.7
医療収支比率	71.7		85.5	62.5
修正医療収支比率	63.8		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	30.2		11.1	33.6
他会計繰入金対医療収益比率	43.3		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	30.2		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	69.1		91.9	67.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,113,277
1 固定資産	547,104
(1) 有形固定資産	547,104
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	566,173
(1) 現金及び預金	520,184
(2) 未収金及び未収収益	44,706
(3) 貸倒引当金()	250
(4) 貯蔵品	1,533
3 繰延資産	-
負債合計	264,055
1 固定負債	30,890
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,890
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一 負債	-
2 流動負債	62,270
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,234
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	19,640
(6) リ 一 負債	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	11,247
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	170,895
(1) 長期前受金	322,987
(2) 長期前受金収益化累計額()	152,092
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	849,222
1 資本金	1,110,090
2 剰余金	-260,868
(1) 資本金剰余金	26,629
(2) 利益剰余金	-287,497
負債・資本合計	1,113,277
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	142,777	142,777
資本勘定繰入	22,239	22,239
計	165,016	165,016

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	87.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医療収益とは、医療収益からその他医療収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医療収支比率とは、修正医療収益の医療費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医療収益からその他医療収益のうち他会計負担金を除いたものと医療外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名 宮崎県	
市町村・組合名	美郷町		
病院名	西郷病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	2,859 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救へ
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	29	60.1	69.0	78.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	29	60.1	69.0	78.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	18.0	20.0

設立団体の状況	
人口(人)	4,826
決算規模(千円)	8,901,239
標準財政規模(千円)	4,938,675
財政力指数	0.18
経常収支比率(%)	85.7
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	649,379			
1 経常収益	648,359			
(1) 医業収益	423,359			
(うち修正医業収益)	387,065			
入院収益	170,387			
外来収益	178,625			
診療収入計	349,012			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	74,347			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	225,000			
(うち国・都道府県補助金)	13,110			
(うち他会計補助・負担金)	187,926			
(うち長期前受金戻入)	22,134			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,020			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	671,090			
2 経常費用	671,090			
(1) 医業費用	646,503			
職員給与費	415,432	98.1	59.4	87.7
材料費	80,091	18.9	26.1	13.6
(うち薬品費)	43,286	10.2	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,270	7.6	11.8	5.9
減価償却費	49,515	11.7	8.7	12.7
経費	99,917	23.6	22.1	45.1
(うち委託料)	35,857	8.5	11.7	21.3
研究研修費	822			
資産減耗費	726			
(2) 医業外費用	24,587			
(うち支払利息)	3,814	0.9	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	経常損益	-22,731		
	純損益	-21,711		
累積欠損金	119,827			
経常収支比率	96.6		103.3	101.7
医業収支比率	65.5		85.5	62.5
修正医業収支比率	59.9		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	34.6		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	53.0		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	34.5		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	63.2		91.9	67.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,043,362
1 固定資産	559,184
(1) 有形固定資産	558,600
(2) 無形固定資産	224
(3) 投資その他の資産	360
2 流動資産	484,178
(1) 現金及び預金	422,038
(2) 未収金及び未収収益	57,851
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,289
3 繰延資産	-
負債合計	462,947
1 固定負債	157,708
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	157,708
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	98,329
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	29,548
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	25,910
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	41,604
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	206,910
(1) 長期前受金	359,786
(2) 長期前受金収益化累計額()	152,876
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	580,415
1 資本金	691,742
2 剰余金	-111,327
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-111,327
負債・資本合計	1,043,362
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	224,220	224,220
資本勘定繰入	56,153	55,757
計	280,373	279,977

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名 宮崎県	
市町村・組合名	高千穂町		
病院名	国保病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ト透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,351 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	9	指定病院の状況	救臨
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	84.0	91.4	88.1
療養	60	71.8	76.3	65.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	77.9	83.9	76.6
平均在院日数(一般病床のみ)		25.3	23.6	22.6

設立団体の状況		
人口(人)	11,642	
決算規模(千円)	9,404,266	
標準財政規模(千円)	5,029,819	
財政力指数	0.24	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,400,394			
1 経常収益	2,400,394			
(1) 医業収益	1,973,110			
(うち修正医業収益)	1,948,784			
入院収益	1,009,604			
外来収益	882,759			
診療収入計	1,892,363			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	80,747			
(うち他会計負担金)	24,326			
(2) 医業外収益	427,284			
(うち国・都道府県補助金)	175,819			
(うち他会計補助・負担金)	139,779			
(うち長期前受金戻入)	73,088			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,307,942			
2 経常費用	2,307,721			
(1) 医業費用	2,167,980			
職員給与費	1,263,569	64.0	59.4	67.0
材料費	353,340	17.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	179,160	9.1	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	174,180	8.8	11.8	9.4
減価償却費	161,777	8.2	8.7	10.2
経費	387,040	19.6	22.1	28.8
(うち委託料)	208,894	10.6	11.7	13.2
研究研修費	2,051			
資産減耗費	203			
(2) 医業外費用	139,741			
(うち支払利息)	22,550	1.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	221			
経常損益	92,673			
純損益	92,452			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.0		103.3	104.5
医業収支比率	91.0		85.5	80.1
修正医業収支比率	89.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	6.8		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	6.8		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	96.9		91.9	88.8

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,889,599
1 固定資産	2,929,207
(1) 有形固定資産	2,857,233
(2) 無形固定資産	378
(3) 投資その他の資産	71,596
2 流動資産	960,392
(1) 現金及び預金	573,172
(2) 未収金及び未収収益	369,815
(3) 貸倒引当金()	286
(4) 貯蔵品	17,691
3 繰延資産	-
負債合計	1,918,931
1 固定負債	782,009
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	765,015
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	16,994
2 流動負債	370,108
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	164,716
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	71,151
(6) リース債務	16,182
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	112,111
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	766,814
(1) 長期前受金	1,434,552
(2) 長期前受金収益化累計額()	667,738
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,970,668
1 資本金	709,930
2 剰余金	1,260,738
(1) 資本剰余金	282,947
(2) 利益剰余金	977,791
負債・資本合計	3,889,599
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	237,449	164,105
資本勘定繰入	143,352	135,895
計	380,801	300,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	日之影町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,378 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	58.2	66.6	53.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	58.2	66.6	53.4
平均在院日数(一般病床のみ)		22.0	21.3	32.3

設立団体の状況		
人口(人)	3,635	
決算規模(千円)	5,619,921	
標準財政規模(千円)	3,087,104	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	84.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	681,129			
1 経常収益	681,129			
(1) 医業収益	501,131			
(うち修正医業収益)	468,253			
入院収益	227,324			
外来収益	206,146			
診療収入計	433,470			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	67,661			
(うち他会計負担金)	32,878			
(2) 医業外収益	179,998			
(うち国・都道府県補助金)	34,363			
(うち他会計補助・負担金)	129,557			
(うち長期前受金戻入)	11,060			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	673,551			
2 経常費用	669,468			
(1) 医業費用	643,099			
職員給与費	397,581	79.3	59.4	76.5
材料費	100,545	20.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	86,108	17.2	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,437	2.9	11.8	6.4
減価償却費	46,571	9.3	8.7	11.5
経費	98,138	19.6	22.1	32.6
(うち委託料)	49,283	9.8	11.7	14.8
研究研修費	264			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	26,369			
(うち支払利息)	3,745	0.7	1.0	1.3
(3) 特別損失	4,083			
損益	11,661			
純損益	7,578			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.7		103.3	101.5
医業収支比率	77.9		85.5	73.2
修正医業収支比率	72.8		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	32.4		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	23.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	77.5		91.9	78.8

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,199,280
1 固定資産	784,207
(1) 有形固定資産	759,713
(2) 無形固定資産	111
(3) 投資その他の資産	24,383
2 流動資産	415,073
(1) 現金及び預金	272,829
(2) 未収金及び未収収益	138,424
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	3,820
3 繰延資産	-
負債合計	507,765
1 固定負債	307,283
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	305,561
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	1,722
2 流動負債	92,571
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,681
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	21,797
(6) リ一ス債務	775
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	25,217
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	107,911
(1) 長期前受金	190,689
(2) 長期前受金収益化累計額()	82,778
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	691,515
1 資本金	590,315
2 剰余金	101,200
(1) 資本剰余金	1,802
(2) 利益剰余金	99,398
負債・資本合計	1,199,280
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	162,435	162,435
資本勘定繰入	61,277	15,120
計	223,712	177,555

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				宮崎県	
市町村・組合名	五ヶ瀬町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,771 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	36	52.5	56.8	54.5
療養	18	72.7	74.1	70.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	59.3	62.6	59.9
平均在院日数(一般病床のみ)		21.9	18.3	20.2

設立団体の状況		
人口(人)	3,472	
決算規模(千円)	4,902,329	
標準財政規模(千円)	2,500,382	
財政力指数	0.15	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均
総収益	579,784			
1 経常収益	579,784			
(1) 医業収益	429,505			
(うち修正医業収益)	388,120			
入院収益	221,110			
外来収益	141,721			
診療収入計	362,831			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	66,674			
(うち他会計負担金)	41,385			
(2) 医業外収益	150,279			
(うち国・都道府県補助金)	12,626			
(うち他会計補助・負担金)	113,708			
(うち長期前受金戻入)	22,764			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	638,731			
2 経常費用	637,785			
(1) 医業費用	616,085			
職員給与費	347,500	80.9	59.4	76.5
材料費	38,317	8.9	26.1	14.9
(うち薬品費)	22,636	5.3	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	15,681	3.7	11.8	6.4
減価償却費	42,848	10.0	8.7	11.5
経費	186,735	43.5	22.1	32.6
(うち委託料)	64,174	14.9	11.7	14.8
研究研修費	195			
資産減耗費	490			
(2) 医業外費用	21,700			
(うち支払利息)	4,621	1.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	946			
損益	経常損益	-58,001		
	純損益	-58,947		
累積欠損金	82,938			
経常収支比率	90.9		103.3	101.5
医業収支比率	69.7		85.5	73.2
修正医業収支比率	63.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	26.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	36.1		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	26.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	66.6		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,050,682
1 固定資産	728,977
(1) 有形固定資産	728,106
(2) 無形固定資産	871
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	321,705
(1) 現金及び預金	248,875
(2) 未収金及び未収収益	63,413
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	9,417
3 繰延資産	-
負債合計	525,683
1 固定負債	237,510
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	237,510
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	111,269
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	53,037
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,174
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	29,058
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	176,904
(1) 長期前受金	276,816
(2) 長期前受金収益化累計額()	99,912
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	524,999
1 資本金	248,796
2 剰余金	276,203
(1) 資本剰余金	357,831
(2) 利益剰余金	-81,628
負債・資本合計	1,050,682
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	166,957	155,093
資本勘定繰入	34,859	31,359
計	201,816	186,452

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	19.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。